



日本海政令市にいがた 水と土の芸術祭2009 について

概要

- ・主催 水と土の芸術祭実行委員会 (H20年10月9日～22年3月31日) 57団体
- ・実行委員長 篠田昭(新潟市長) ディレクター 北川フラム(新潟市美術企画監 開催時)
- ・目的 政令市にいがた(広域合併しH19年移行81万人)のアイデンティティづくり
市民の誇りづくり 芸術文化によるまちづくり(新・新潟づくり)
- ・期間 平成21年7月18日～12月27日163日間(一部22年1月31日まで)
- ・会場 新潟市全域 新潟市美術館 旧齋藤家 米倉庫 信濃川河川敷 海岸 潟 港 田等
- ・事業費 予算470,000,000円 決算398,142,003円(新潟市負担金307,356,739円 寄付・協賛金6,468,193円 助成金等13,600,000円 パスポート販売54,818,975円他
支出 アート展示229,964,029円 運営活動費65,163,575円 地域の魅力発信
47,942,154円 広報42,355,677円 みなとぴあ展覧会9,500,000円
- ・パスポート販売実績 28,517枚(54,818,975円) 単館チケット20,136枚(9,773,260円)
- ・主な事業
 - アート 71作品 61人・グループ13カ国 50か所(うち公募採択25件応募132件)
ジャウマ・プレンサ 王文志 磯辺行久 遠藤利克 土屋公雄 アン・グラハム等
 - イベント 主催事業 教育プロジェクト フネプロジェクト 堀川久子独舞等
助成事業(企画提案イベント)70件(申込147件) 神楽まつり等
アーティストイベント 26件 明後日朝顔 鯛車復活プロジェクト等
 - 共催・協賛・後援 水のかたち木のかたち(新潟伊勢丹)ハコラズモ(手塚眞)等
- ・市民サポーターズ会議(H20年10月29日設立 21年末716人, 22年再スタート140人)
- ・来場者数 延べ549,423人(目標350,000人) 内訳 屋内有料施設126,213人 屋外27万人
主催イベント13,650人 企画提案イベント139,560人
- ・バスツアー 79便 2,354人 平均乗車率71%
- ・まち歩き(区, 団体, 市民等が実施) 58回 1,497人(駅からハイキング720人含む)
- ・経済波及効果 12億5000万円(目標27億円 来場者消費支出額, 県外客が見込みより減)
- ・パブリシティ効果 3億156万円
- ・恒久作品 屋外8作品 保管8作品
- ・賞 第14回ふるさとイベント大賞 選考委員特別賞(22.3)
小さな建築 最優秀賞 南川祐輝 おひるねハウス(22.5)

次回に向けて

- ・22年度 水と土の宝物活用事業を実施 予算1,400万円
水と土の祭り(地域イベントやアートイベント)7か所 教育プロジェクト4校
バスツアーの実施(31便 918人 乗車率71%) まち歩きガイド講座4か所 作品維持管理
物販(作品集 記録集 DVDなど) 次回の意見募集と構想の検討
- ・次回 平成24年度開催を予定
23年度に実行委員会を設立し, 計画, ディレクター(複数)等を決定。民間からスタッフ
の公募, アートプロジェクトの公募と一部実施, 参加作家(公募, 招へい)の選考, 広報等
を進める。当初予算3,000万円。総事業費は未定。市民主体・地域主導で実施する。

事務局・連絡先

新潟市役所 水と土の芸術祭推進課

TEL: 025-226-2623・2624 FAX: 025-228-6188 電子メール: mizutsuchi@city.niigata.lg.jp
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 <http://www.mizu-tsuchi.jp>